

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分 コード	会計 01	款 08	項 04	目 06	細目 386	細々目 52
	事業名	0582		しらさぎ運動公園整備事業								
	基本施策	34	だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する	所属	190700	建設部都市計画課 事業推進係	連絡先(記入者) 松尾 卓哉 43 - 2315					

概要	事業概要	伊賀市防災計画に位置付けた地域防災拠点の整備をすることにより、地震や風水害に対する防災機能の充実を図るとともに、お年寄りから子供まで誰もが気軽に運動でき、生涯スポーツレクリエーション需要への対応ができる運動公園として整備する。						事業期間				
								平成 22 年度	～	平成 26 年度		
	根拠法令・要綱等							審議会・委員会等				
	補助金支出	<input type="checkbox"/> 有	※支出“有”の場合要綱を記入 社会資本整備総合交付金交付要綱						分掌事務番号			
	対象(誰を、何を)	防災拠点、生涯スポーツ愛好者、公園利用者						※対象 件数				
成果(どうする)	防災拠点の整備及び運動公園の整備											
H24 実施 内容	全ての事業用地の買収が完了し、一部造成工事及び調整池工事に着手した。											

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明	
			H23		H24		H25	H26		
	活動指標			目標	実績	目標	実績			
成果指標	事業進捗率	%	目標	15.0	目標	50.0		80.0	100.0	
			実績	19.0	実績	28.0				

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
[収入]	使用料・手数料								
	国費 (補助率 50.0%)	104,650	61,632	432,367	175,000				補助率 (用地関連・・・1/3 用地以外・・・1/2)
	県費 (補助率 )								
	地方債	191,420	92,010	418,320	171,000				
	その他	10,079	4,847	22,020	9,000				
	合計(A)	306,149	158,489	872,707	355,000	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	工事請負費		43,621	848,441	347,800				
	測量設計委託料	25,562	13,969	19,964	5,000				
	補償費		2,559						
	用地取得費	276,101	96,443						
	その他事務経費	4,486	1,897	4,302	2,200				
	小計(B)	306,149	158,489	872,707	355,000	0	0	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費	正規職員	人数	1.5 人	1.5 人	1.5 人	1.5 人	人	人	人
		人件費	8,523	8,666	8,666	8,666	0	0	0
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人
		人件費							
	小計(C)	8,523	8,666	8,666	8,666	0	0	0	
	合計(D=(B+C))	314,672	167,155	881,373	363,666	0	0	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)	8,523	8,666	8,666	8,666	0	0	0	
	(うち繰越金)								
	※前年度比	—	143	0	0	△ 8,666	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額					—	—	—	

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
防災拠点とすることで市民の安全安心が図れ、健康増進と生涯スポーツへ対応した施設となる。	遅れ		交付決定額が要望額に対して大幅な減額となったため、事業の進捗に影響が出ている。
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法 (該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度 記載した 改善策	全ての事業用地を取得し、計画的な事業進捗に努める。	左記 改善策 への 取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。  全ての事業用地を取得し、計画的な事業進捗を図るため、国庫補助金の追加補正を行い、交付決定をいただいた。
現時点における課題 及び 課題に対する改善策	H24要望額に対して大幅な減額査定であったが、当初要望額まで大型の追加補正をいただき工事を進めているが、引き続き、国庫補助金の交付額が不安定であるため、事業費の獲得と事業費に見合う工事の計画的な進捗を図る。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	清水 仁敏	現状維持	事業の早期完了を目指し、事業費の確保と計画的な工事の進捗を図る。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	01	10	06	01	451	51
	事業名	0736-1 スポーツ活動振興事業	所属	450800	教育委員会スポーツ振興課	連絡先(記入者)	宮崎成由 47 - 1284					
	基本施策	34	だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する									

概要	事業概要	市民が気軽に楽しめるスポーツイベントを年間を通じて開催することによりスポーツを振興するとともに「見る」スポーツ振興のため女子サッカートップリーグに所属する「IFCノア」を支援する。また、全国及び国際大会に出場する市民に激励金を交付する。						事業期間		平成 25 年度 ~ 平成 25 年度			
	根拠法令・要綱等	審議会・委員会等											
	補助金支出	有	※支出“有”の場合要綱を記入 教育委員会関係補助金交付要綱						分掌事務番号				
	対象(誰を、何を)	スポーツに関心のある市民、スポーツを実践している市民						※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	多様なスポーツ活動に参加する機会が確保される。											
H24実施内容	・市民スポーツフェスティバルの開催(競技種目=卓球・バレーボール・ソフトボール・綱引・グランドゴルフ・ゲートボール・ターゲットバードゴルフ・カローリング) ・伊賀上野シティマラソンの開催(ハーフ・10km・5km・3km・ジョギング)・青山高原つつじクォーターマラソン大会の開催(10km・5km・3km) ・伊賀フットボールクラブへの助成・体育まつりの開催(島ヶ原・阿山・大山田・青山)・各種スポーツ大会の開催(いがまち・島ヶ原・阿山)・大山田元日マラソンの開催 ・激励金交付												

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
	活動指標	事業数(委託及び補助事業)	回	目標 13 実績 12	目標 13 実績 12	13	13	スポフェス、シティマラソン、つつじマラソン、IFC、地域体育まつり4、地域スポーツ大会4、元日マラソン	
成果指標	スポーツフェスティバル、マラソン(つつじ&シティ)参加者数	回	目標 6,300 実績 6,769	目標 6,700 実績 6,600	6,700	6,700	忍びの里レディーストーナメント(女子サッカー大会)は競技場改修のため中止		

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。										
	[収入]	項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		使用料・手数料									
		国費(補助率)									
		県費(補助率)									
		地方債									
	その他	1	1	1	1	1	1	1	1	日独親善少年サッカー交流基金利子	
	合計(A)	1	1	1	1	1	1	1	1	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]	事業費									
		報償費		730	680	680	680	680	680	委託料	市民スポーツフェスティバル 756
旅費			345	329	329	329	329	329	補助金	伊賀上野シティマラソン 3,312	
需用費			246	250	250	250	250	250		つつじクォーターマラソン 693	
委託料		756	756	756	756	756	756	756		地域体育まつり 538	
使用料及び賃借料		132	287	287	287	287	287		地域スポーツ大会 200		
負担金、補助及び交付金	9,586	8,881	9,665	9,665	9,665	9,665	9,665		大山田元日マラソン 88		
										伊賀フットボール補助 4,000	
										研修補助 50	
	その他事務経費	37	72	72	72	72	72	72		*忍びの里レディーストーナメント(女子サッカー大会)は中止したため、補助金支出なし	
小計(B)	10,379	11,162	12,039	12,039	12,039	12,039	12,039	12,039		特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
人件費	正規職員	人数	2.4人	2.4人	2.4人	2.4人	2.4人	2.4人	2.4人		
	人件費		13,637	13,865	13,865	13,865	13,865	13,865	13,865		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人		
人件費											
小計(C)	13,637	13,865	13,865	13,865	13,865	13,865	13,865	13,865			
合計(D=B+C)	24,016	25,027	25,904	25,904	25,904	25,904	25,904	25,904		特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	24,015	25,026	25,903	25,903	25,903	25,903	25,903	25,903		
	(うち繰越金)										
	※前年度比	—	1,011	877	0	0	0	0	0		
対象者あたり一般財源充当額											

必要性	7. 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業													
有効性	※廃止したときの影響			達成度				※未達成事項記入欄			効率性		※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の貢献度は高い。			(概ね)順調							大きな事業(スポフェス、シティマラソン、つつじマラソン、忍びの里レディーストーナメント)はすべて実行委員会を組織して運営しているが、実働は市である。			
関与の妥当性							協働の状況など							
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)			委託・指定管理(非公募・随意)			負担金・補助金・交付金			直接実施(契約・交付事務を除く)			※委託内容及び委託先の存在	
昨年度記載した改善策	市民スポーツフェスティバルに関し、参加が多く見込める種目への変更及び各地域でのチームづくりの呼びかけを強化し、参加チーム数の増につなげる。						左記改善策への取組状況		【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。					
現時点における課題及び課題に対する改善策	市民スポーツフェスティバルに関し、各自治協でのチームづくりの呼びかけを強化し、参加チーム数の増につなげる。													
今後の方向性	担当課長氏名	松本和久	方向性	拡大・充実		理由								
	市民スポーツフェスティバルは市民が一同に会してスポーツの振興と交流を深める事業であり、市内全域からの参加を目標にしている。													

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	01	10	06	01	451	51
	事業名	0736-2	スポーツ活動振興事業	所属	450800	教育委員会スポーツ振興課	連絡先(記入者)					
	基本施策	34	だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する	島井基吉 47 - 1284								

概要	事業概要	社会体育振興事業として、スポーツ人口の拡大と競技力向上の取り組みを伊賀市体育協会に委託した。また、青少年スポーツ活動育成事業として、青少年のスポーツ活動の普及と競技力向上を図りながら健全育成につなげる取り組みを伊賀市スポーツ少年団に委託した。						事業期間 平成 25 年度 ~ 平成 25 年度					
	根拠法令・要綱等	審議会・委員会等											
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号				
	対象(誰を、何を)	スポーツに関心のある市民						※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	住民ニーズに対応した事業を展開することで日常生活にスポーツが浸透し、関心も高まる。また、各種活動によりスポーツ少年団の活性化と競技力向上が図られるとともに青少年の健全育成が図られる。											
H24実施内容	社会体育振興事業: 青少年競技者育成強化事業、強化認定指定事業、優秀選手等表彰事業、スポーツ指導者育成事業 青少年スポーツ活動育成事業: 青少年健全育成と競技力向上事業、スポーツ少年大会実施事業、スポーツ交流大会実施事業、少年指導者研修会開催事業												

指標	項目	単位	実績値				目標値			説明	
			H23	H24	H25	H26	H25	H26			
活動指標	スポーツ少年団交流大会数	回	目標 6 実績 7	目標 7 実績 7	7	7	スポーツ少年団、ミニ駅伝、ソフト、バレー、野球、サッカー、甲賀市交流会				
成果指標	スポーツ少年団登録数	団(人)	目標 75(2,000) 実績 77(1,855)	目標 76(1,800) 実績 67(1,616)	63(1,600)	63(1,600)	少子化の影響で廃団や統合が進んでいる。				
コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。										
	[収入]	項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		使用料・手数料									
		国費(補助率)									
		県費(補助率)									
		地方債 その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)		
	[支出]	事業費	委託料	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	社会体育振興事業委託料(体育協会) 6,100千円	
		委託料	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	青少年スポーツ活動育成事業委託料(スポーツ少年団) 3,500千円	
		その他事務経費									
小計(B)		9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	特記事項記入欄(有資格者の状況等)		
人件費		正規職員	人数 2.3人 人件費 13,069	人数 2.3人 人件費 13,287	人数 2.3人 人件費 13,287	人数 2.3人 人件費 13,287	人数 2.3人 人件費 13,287	人数 2.3人 人件費 13,287	人数 2.3人 人件費 13,287		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数 人 人件費	人数 人 人件費	人数 人 人件費	人数 人 人件費	人数 人 人件費	人数 人 人件費	人数 人 人件費			
	小計(C)	13,069	13,287	13,287	13,287	13,287	13,287	13,287	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)		
	合計(D=(B+C))	22,669	22,887	22,887	22,887	22,887	22,887	22,887			
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	22,669	22,887	22,887	22,887	22,887	22,887	22,887			
	※前年度比	—	219	0	0	0	0	0			
	対象者あたり一般財源充当額										

必要性	7. 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業											
有効性	※廃止したときの影響			達成度				※未達成事項記入欄			効率性	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の貢献度は高い。			(概ね)順調							※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)	
関与の妥当性							協働の状況など					
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)			負担金・補助金・交付金			※委託内容及び委託先の存在					
	委託・指定管理(非公募・随意)			直接実施(契約・交付事務を除く)								
昨年度記載した改善策	必要に応じて事業メニューの再編成の検討を進め、市民満足度の向上に努める。				左記改善策への取組状況		【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。					
	スポーツ少年団大会の競技メニューを安全面に配慮して見直し、参加しやすくした。また、甲賀市スポーツ少年団との相互交流を開始し、スポーツ少年団の魅力を高めるものを取り入れた。											
現時点における課題及び課題に対する改善策	昨年度に引続き必要に応じて事業メニューの再編成の検討を進め、市民満足度の向上に努める。											
今後の方向性	担当課長氏名	松本和久	方向性	現状維持								
	理由 スポーツ少年団は少子化の影響を受けて団の統廃合が進んでいるが、魅力を高めて加盟者の増加につなげたい。 体育協会は次期国体を控え、休会中の種目協会に対し再始動を促したい。											

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	01	10	06	01	451	51
	事業名	0736-3 スポーツ活動振興事業	所属	コード	名称	連絡先(記入者)						
	基本施策	34 だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する	450800	教育委員会スポーツ振興課	島井基吉 47 - 1284							

概要	事業概要	平成25年度全国中学校体育大会新体操競技がゆめドームうえのを会場に8月22日から24日まで開催されます。						事業期間 平成 25 年度 ~ 平成 25 年度				
	根拠法令・要綱等	平成25年度全国中学校体育大会三重県実行委員会会則			審議会・委員会等		全国中学校体育大会新体操実行委員会					
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号			
	対象(誰を、何を)	全国大会に参加する中学生			※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値		
	成果(どうする)	全国から集う中学生に良好な試合環境を提供できる。										
H24実施内容	全国中学校体育大会新体操競技開催地負担金 平成25年度全国中学校体育大会新体操競技がゆめドームうえのを会場に8月22日から24日まで開催されます。開催地教育委員会が共催となるため、負担金を支出して大会の成功につなげるものとする。											

指標	活動指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
				H23	H24	H25	H26			
	成果指標	全国中学校体育大会新体操競技大会参加者数	人	目標	0	目標	0	1,000	0	
				実績	0	実績	0			

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)		
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額			
	[収入]	使用料・手数料									
		国費(補助率)									
		県費(補助率)									
		地方債									
		その他									
		合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]	事業費	負担金			1,500					
			小計(B)	0	0	1,500	0	0	0	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費		正規職員	人数	人	0.2	人	人	人	人	人	
			人件費	0	0	1,155	0	0	0	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人	
	人件費										
	小計(C)	0	0	1,155	0	0	0	0	0		
	合計(D=(B+C))	0	0	2,655	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	0	0	2,655	0	0	0	0	0		
	(うち繰越金) ※前年度比	—	0	2,655	△ 2,655	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額										

必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	「見る」スポーツの提供により基本施策への貢献度は高い。	(概ね)順調	
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	左記改善策への取組状況		
		【状況】 【詳細】	計画のとおり進んでいる。
現時点における課題及び課題に対する改善策	駐車台数に限りがあるため、輸送方法を実行委員会で検討する必要がある。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	松本和久	終期設定	本年度限りの事業である。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0738	地域スポーツ活動推進事業					01	10	06	01	452	51
	事業名	0738	地域スポーツ活動推進事業	所属	450800	教育委員会スポーツ振興課	連絡先(記入者) 前田理恵 47 1284					
基本施策	34	だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する										

概要	事業概要	年間を通じて、市民ニーズの高い各種スポーツ教室を開催する。						事業期間				
								平成 25 年度	～	平成 25 年度		
	根拠法令・要綱等							審議会・委員会等				
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号				
	対象(誰を、何を)	スポーツに関心のある市民						※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込
成果(どうする)	機会を提供することでスポーツに親しむことができる。											
H24実施内容	スポーツ教室等の開催 バレーボール実技講習会(70人) こども水泳教室(96人) スロートレーニング教室(33人) フィットネス事業(フィットネス教室 人、ママとベビーの3B体操 人、超脂肪燃焼運動ズンバ110人) * 委託事業											

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明	
			H23		H24		H25	H26		
	活動指標	スポーツ教室等の開催	教室数	目標	14	目標	6	6	6	
				実績	6	実績	6			
成果指標	参加者数	人	目標	5,100	目標	6,000	6,000	6,000		
			実績	5,949	実績					

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費 (補助率)									
	県費 (補助率)									
	地方債									
	その他	2,204		2,825	2,825	2,825	2,825	2,825	事業参加負担金	
合計(A)		2,204	0	2,825	2,825	2,825	2,825	2,825	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	事業費	報償費	556	531	531	531	531	531	フィットネス事業については、文化都市協会へ年間4,000千円で委託しているが、3月末の事業終了後、精算により例年返金が生じる。	
		需用費(消耗品費)	37	38	45	45	45	45		
		委託料	3,777	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000		
		使用料及び賃借料	54	54	46	46	46	46		
		備品購入費	147							
		その他事務経費	135	167	92	92	92	92		
	小計(B)		4,706	4,790	4,714	4,714	4,714	4,714		特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	人件費	正規職員	人数	1.8 人	人	人	人	人		人
		人件費	10,228	0	0	0	0	0		0
		臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人		人
小計(C)		10,228	0	0	0	0	0	0		
合計(D=(B+C))		14,934	4,790	4,714	4,714	4,714	4,714	4,714	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	12,730	4,790	1,889	1,889	1,889	1,889	1,889		
	(うち繰越金) ※前年度比	—	△ 7,940	△ 2,901	0	0	0	0		
対象者あたり一般財源充当額										

必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の貢献度は高い。	(概ね) 順調		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法 (該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争) <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金 <input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	※委託内容及び委託先の存在 フィットネス事業を文化都市協会へ委託
昨年度記載した改善策	東海地区及び県が行う研修会にスポーツ推進委員が積極的に参加して個々の資質向上を図り、市域をブロック別に分けた教室開催をめざす。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 県主催研修が総選挙と重なり中止になるなど、参加できる機会が少なかったためにブロック別教室の開催には至らなかった。
現時点における課題及び課題に対する改善策	今以上のスポーツ教室等の開催のためには、スポーツ推進委員による事業への関与が必要不可欠である。そのために、スポーツ推進委員協議会独自の研修会等を開催して資質の向上につなげ、ブロック別の教室開催につなげたい。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	松本和久	手法改善	外部講師に頼るだけの教室開催から、スポーツ推進委員による教室開催を行うことでスポーツに親しむ機会をより多く提供していきたい。

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分コード	01	10	06	03	456	51
	事業名	2541 体育施設整備事業	所属	450800	教育委員会スポーツ振興課	連絡先(記入者)						
	基本施策	34 だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する	増田克彦 47 - 1283									

概要	事業概要	平成25年度に内野グラウンド・外野フェンス・ファウルポール・ダッグアウトの整備を、平成26年度にスコアボードの整備を行う。						事業期間		平成 25 年度 ~ 平成 26 年度			
	根拠法令・要綱等	審議会・委員会等											
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号					
	対象(誰を、何を)	施設を利用する市民						※□対象件数	単位	H24実績	H25見込	H26目標値	H27目標値
	成果(どうする)	良好な環境を提供する。											

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明
			H24	H25	H26	H27	
	活動指標	整備進捗率	%	0.0	50	100	
成果指標	利用者数	人	15,055	15,000	15,500	16,000	

コスト	項目		コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。						特記事項記入欄(特定財源の名称等)			
			H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額		H29計画額		
	[収入]	使用料・手数料										
		国費 (補助率)										
		県費 (補助率)										
		地方債										
		その他				20,016						
	合計(A)		0	0	20,016	0	0	0	0	toto助成金		
	[支出]	事業費	工事請負費			45,038	76,752				25年度 ①ダッグアウト整備 22,943 ②内野整備 14,015 ③外野フェンス整備 5,885 ④ファウルポール整備 2,195  26年度 ⑤スコアボード整備 66,675 ⑥外周路照明灯整備 10,077 *⑥は都市計画課担当	
			その他事務経費									
			小計(B)	0	0	45,038	76,752	0	0	0		
			正規職員	人数	人	人	0.5 人	0.5 人	人	人		人
			人件費	人件費	人	人	2,889	2,889	0	0		0
		臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人		
		人件費	人件費	人	人	人	人	人	人	人		
小計(C)	0	0	2,889	2,889	0	0	0	0				
合計(D=(B+C))	0	0	47,927	79,641	0	0	0	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)			
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)		0	0	27,911	79,641	0	0	0			
	※前年度比		—	—	27,911	51,730	△ 79,641	0	0			
対象者あたり一般財源充当額												

企画した背景、状況変化見通し、市民意見等			
新たに企画した背景は何か?	取り巻く状況は、今後どのように変化していくか?(見通し)	関係者からどのような意見や要望が寄せられているか?	どのような状態になれば完了とみなすか? また、その目安の時期は?
施設の老朽化が進む中、利用者の安全を確保した上で、快適な環境を提供したい。	2か年の整備後は公式試合開催に対応でき、平成27年に三重県で開催の天皇杯軟式野球大会、平成33年三重国体の会場になりうる。	伊賀市野球協会からは野球場改修について以前より強い要望が寄せられている。	2か年の整備により完了となる。

事前評価		
必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	特記事項
有効性	2. 基本施策の目的を実現するために事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	特記事項
効率性	6. コストに見合った効果が見込める。	特記事項
事業実施に対する担当課長の意見	担当課長氏名 松本和久	長年の要望に応えられることになる。整備後は公式試合開催が見込めるため交流人口の増加が期待でき、地域振興にもつながる効果が期待できる。

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	事業名	2610	いがまちスポーツセンターグラウンド整備事業	所属	コード	名称	連絡先(記入者)					
	基本施策	34	だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する	450800	教育委員会スポーツ振興課	増田克彦 47 - 1284						

概要	事業概要	グラウンド排水能力が低下しているため土壌の入れ替えを行う。						事業期間		平成 25 年度 ~ 平成 年度			
	根拠法令・要綱等	審議会・委員会等											
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号					
	対象(誰を、何を)	利用する市民等						※□対象件数	単位	H24実績	H25見込	H26目標値	H27目標値
	成果(どうする)	良好な環境を提供できる											

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明
			H24	H25	H26	H27	
	活動指標	整備進捗率	%	0	0	100	
成果指標	利用人数	人	18,567	18,000	17,000	19,000	

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。											
	[収入]	項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)		
		使用料・手数料										
		国費 (補助率)										
		県費 (補助率)										
		地方債										
		その他										
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)			
	[支出]	事業費	工事請負費			30,000				現在見積書依頼中		
		その他事務経費										
		小計(B)	0	0	0	30,000	0	0	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)		
		人件費	正規職員	人数	人	人	0.2人	人	人	人		
			臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人		
			人件費				1,155	0	0	0		
	合計(D=(B+C))	0	0	0	31,155	0	0	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)			
[収支]	一般財源充当額(D-A)	0	0	0	31,155	0	0	0				
	(うち繰越金) ※前年度比	—	—	0	31,155	△ 31,155	0	0				
	対象者あたり一般財源充当額											

企画した背景、状況変化見通し、市民意見等			
新たに企画した背景は何か?	取り巻く状況は、今後どのように変化していくか?(見通し)	関係者からどのような意見や要望が寄せられているか?	どのような状態になれば完了とみなすか? また、その目安の時期は?
排水能力の低下のため、16箇所の地点調査を行った結果、土壌入れ替えが必要との結果となった。	多様な屋外スポーツに対応できる施設のため、今後も需要が伸びていくと考えている。	排水に時間がかかるため、住民自治協議会から早急な改修を要望されている。	土壌入れ替え工事の終了で完了とみなす。

事前評価	
必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業
有効性	2. 基本施策の目的を実現するために事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。
効率性	6. コストに見合った効果が見込める。
事業実施に対する担当課長の意見	担当課長氏名 松本和久 車で来場する利用者にとっては交通環境に恵まれており、需要の高い施設であるため早期に整備したい。また、地元組織が指定管理を受ける準備を整えており、良好な施設を整備しておく必要がある。